

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年12月16日（金）

2 確認箇所

2・4号機原子炉建屋周辺（陸側遮水壁内エリア）

3 確認項目

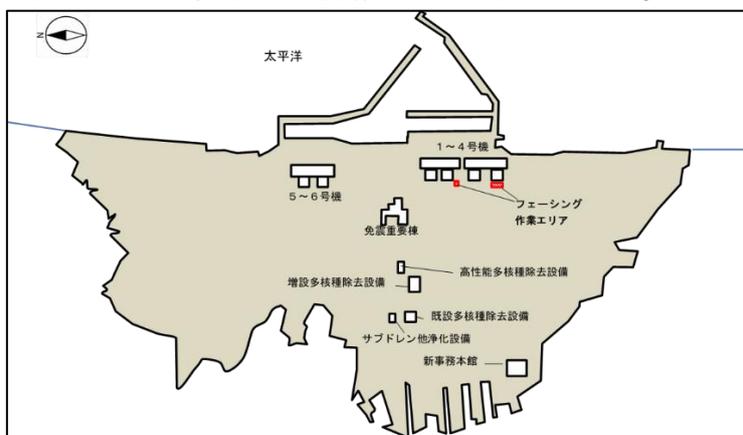
フェーシング工事の状況

4 確認結果の概要

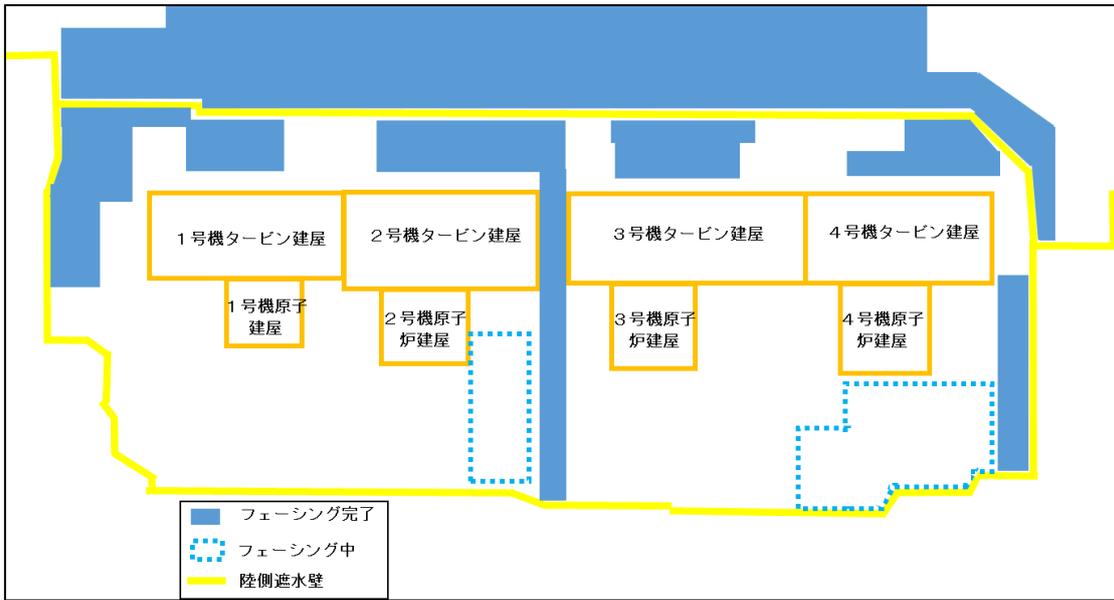
東京電力では、構内の地表面をアスファルト等で覆い、放射線量低減並びに雨水の地下浸透を抑制し、建屋への地下水流入量の低減を図っており、敷地内の計画エリア145万㎡のうち、2022年11月末時点で約95%が完了している。このうち、陸側遮水壁内エリアについては、実施可能な範囲からフェーシング工事を進めており、現在、2・4号機原子炉建屋西側等で作業が行われていることから、その状況を確認した。（図1）（図2）

なお、陸側遮水壁内エリアについては、計画エリア6万㎡のうち、2022年11月末時点で約30%が完了している。

- ・2号機原子炉建屋の西側の道路では、アスファルト舗装した箇所にクレーンを用い、鉄板の敷き込みを実施していた。（写真1）
- ・4号機原子炉建屋の西側の道路は、コンクリート打設されており、現場では作業員が舗装したコンクリートへの目地材の施工と片付け作業を実施していた。（写真2）
- ・東京電力では、建屋内への雨水・地下水流入対策を進め、2025年内に汚染水発生量を約100m³/日以下まで低減させるとしている。



（図1） 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) 陸側遮水壁内エリアフェーシング状況概略図



(写真1)
鉄板敷き込み作業の状況



(写真2-1)
コンクリート打設の状況



(写真 2 - 2)
打設したコンクリートに設置された
目地材の施工状況



(写真 2 - 3)
片付け作業の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。